

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公表番号】特表2009-503123(P2009-503123A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-505678(P2008-505678)

【国際特許分類】

C 09 D 11/00 (2006.01)

B 41 J 2/01 (2006.01)

B 41 M 5/00 (2006.01)

C 09 D 17/00 (2006.01)

【F I】

C 09 D 11/00

B 41 J 3/04 101Y

B 41 M 5/00 E

C 09 D 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着色剤として銀錫合金部を有する金属粒子を含むことを特徴とする黒色インク組成物。

【請求項2】

前記金属粒子における銀原子の含有量が30～80モル%であることを特徴とする請求項1に記載の黒色インク組成物。

【請求項3】

前記銀錫合金部を有する金属粒子の平均粒径が数平均粒子サイズで10～700nmであることを特徴とする請求項1または2に記載の黒色インク組成物。

【請求項4】

前記銀錫合金部を有する金属粒子の黒色インク組成物中の含有量が0.5～30体積%であることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の黒色インク組成物。

【請求項5】

前記金属粒子が分散剤で分散されていることを特徴とする請求項1～4のいずれか1項に記載の黒色インク組成物。

【請求項6】

インクジェット用インクであることを特徴とする請求項1～5のいずれか1項に記載の黒色インク組成物。

【請求項7】

インク組成物の液滴を吐出して、上記液滴を記録媒体に付着させて記録を行うインクジェット記録方法であって、請求項1～6のいずれか1項に記載の黒色インク組成物を用いることを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項8】

請求項1～6のいずれか1項に記載の黒色インク組成物を用いて形成した記録物。

【請求項 9】

請求項7に記載のインクジェット記録方法で作製した記録物。

【請求項 10】

銀錫合金部を有する金属粒子の黑色分散液。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

<1>着色剤として銀錫合金部を有する金属粒子を含むことを特徴とする黒色インク組成物。

<2>前記金属粒子における銀原子の含有量が30～80モル%であることを特徴とする上記<1>項に記載の黒色インク組成物。

<3>前記銀錫合金部を有する金属粒子の平均粒径が数平均粒子サイズで10～700nmであることを特徴とする<1>または<2>に記載の黒色インク組成物。

<4>前記銀錫合金部を有する金属粒子の黒色インク組成物中の含有量が0.5～30体積%であることを特徴とする<1>～<3>のいずれか1項に記載の黒色インク組成物。

<5>前記金属粒子が分散剤で分散されていることを特徴とする上記<1>～<4>のいずれか1項に記載の黒色インク組成物。

<6>インクジェット用インクであることを特徴とする上記<1>～<5>のいずれか1項に記載の黒色インク組成物。

<7>インク組成物の液滴を吐出して、上記液滴を記録媒体に付着させて記録を行うインクジェット記録方法であって、上記<1>～<6>のいずれか1項に記載の黒色インク組成物を用いることを特徴とするインクジェット記録方法。

<8>上記<1>～<6>のいずれか1項に記載の黒色インク組成物を用いて形成した記録物。

<9>上記<7>項に記載のインクジェット記録方法で作製した記録物。

<10>銀錫合金部を有する金属粒子の黑色分散液。